

(別紙5)

京都府における効果的な捕獲に係る市町村連携評価報告
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類、計画の実施期間及び対象地域

指定管理鳥獣名	ニホンジカ
実施時期	令和7年10月28日～令和7年12月18日
連携市町村名	福知山市及び綾部市
事業費	11,033,000円

注1：対象市町村は、協議会に参加する市町村とする。

注2：対象市町村の位置が分かる図を添付すること。

2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の目的・目標、実施状況、効果、課題等

これまで本事業の猟法として主に巻き狩りを実施してきており、今年度は捕獲目標頭数120頭の35%の42頭を捕獲した。今後も、狩猟や他事業により、生息密度の低減を目指す必要がある。

注：捕獲によって軽減・低減したい被害・密度（目的・目標）とそのために必要な捕獲数、捕獲の実施状況、目的・目標に向けた事業の効果及び課題等を記載すること。

3 連携体制

協議会の名称及び 設立年月	構成機関の名称	役割分担
名称：京都府指定管理鳥 獣捕獲等協議会 設立年月：令和7年10月	福知山市 綾部市 京都府	・事務局：京都府 ・周辺地域及び狩猟者との 連絡調整等：福知山市、 綾部市

注：既に協議会規約が策定されている場合は、添付すること。

4 市町村との連携の目的・具体的な取組内容・効果等

京都府では対応が困難な事柄について市の協力を得られたことで、広域での被害防止捕獲事業との調整や、事業実施区域（自治会）への周知、説明会開催などの連絡調整を滞りなく進めることができ、安全に効率的な捕獲を進めることができた。
また、捕獲の経過や効果を地域の方々に報告することで、捕獲の効果を実感して頂くことができ、地域における捕獲や被害防除に対する意識が高まった。

注：2の課題等を踏まえた市町村との連携による効果的な捕獲の目的と取組（実施場所、実施内容、捕獲組織・体制、捕獲方法、市町村の連携方法等）、想定される効果等を具体的に記入すること。

5 技術の効果の検証・評価結果

捕獲目標120頭に対し実績42頭にとどまり、特にくくりわなによる捕獲効率が低調であったことから、当初想定した捕獲技術の効果は十分に発揮されたとはいえない結果であった。主な要因として、市町村の有害捕獲事業との調整により設置箇所や時期が変更となったことが影響したと考えられる。一方で、銃猟（巻き狩り）においては、ドローンによる事前調査結果を活用した捕獲位置の選定により、一定の捕獲成果（39頭）を確保しており、広域的な情報共有と連携体制の構築は有効に機能したと評価できる。また、事業は計画どおり安全に実施され、事故等は発生していないことから、安全管理面における技術的運用は適切であった。

注：3及び4を踏まえ、実施結果の確認方法や目的・目標に対する効果の検証・評価方法を記入すること（事業終了後の評価報告においては、その評価結果を具体的に記入すること。）。

6 その他

--

注1：市町村との連携に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。

注2：事業終了後の評価報告において、特記事項に対するコメントがあれば記入すること。